

大須賀 林 (自民党市議員)

台風等による風水害被害
防止に向けた対応は

問 防災対策に取り組み市長の決意を伺う。

答 大型化する台風や南海トラフ地震への総合的な防災対策は、行政の責務であり、課題であると考えており、災害への備えをさらに進め、対策の充実に力を尽くす。また、危機管理として問われるのは行政の総合力であり、「ワンチーム」の精神で災害時でも発揮される体制づくりに努め、災害に強いまちづくりの実現のため、誠心誠意取り組み



所信表明を行う鈴木寿明新市長

んでいく。

問 総合的な排水計画の策定の考えは。

答 現時点で策定の考えはないが、近年、全国各地で豪雨災害による被害が多発しているため、今後に備え大府市等の計画を参考にしたい。

藤田 裕喜 (市政クラブ)

子育て応援アプリ「うーみんナビ」について

問 アプリ内で市が主催する子育てに関するイベント情報や、児童館の行事などの告知を配信できないか。

答 アプリ内で子育てに関する情報提供は可能である。今後は幅広く情報を収集し、カレンダーに表示することで、使いやすく見やすいアプリに改善していきたい。

子どものインフルエンザワクチン接種への費用助成を

問 対象を限定してでも子どものインフルエンザ



ワクチン接種への費用助成を実現できないか。

答 限られた予算の中で、公費による予防接種事業の成果など慎重に見きわめながら対応したい。

竹内 滋泰 (自民党市議員)

新年度予算編成に向けて病院事業会計の状況は

問 令和元年度の決算見込みは。

答 病床利用率や手術件数が平成30年度を上回る約8600万円の赤字だった経常収支が、8000万円程度の赤字にまで改善されると見込んでいる。

新市長のマニフェストについて

問 シニアの行動範囲を自由に楽しく広げる施策の具体的な取り組みは。

答 シニア世代が自由に行動するには、公共交通の整備が必要である。今年度は、三谷地区で公共交通協議会が立ち上がったが、今後も地域のニーズを把握した上で交通空白地の解消に取り組みたい。

青山 義明 (自民党市議員)

新体育館建設構想について

問 建設予定時期について伺う。



現在の市民体育館

答 政策理念に掲げた「ひとづくりを進める中で、誰もがスポーツを楽しめる環境整備は重要と考える。具体的な時期については、今後、議論を深め、検討していきたい。

官民一体のシテイセールスについて

問 市の方向性について伺う。

答 シテイセールスは市の魅力をブランドとして確立し、地域内外に戦略的かつ継続的にアピールする取り組みであり、官民一体で取り組みれば大きな波及効果が期待できると考える。今後、検討を進め、専任担当を設置していきたい。

鈴木 貴晶 (自由クラブ)

空家対策における地元金融機関との連携を

問 他市では金融機関と連携し、空家解体ローンの利子を補助する利子補給事業を実施しているが、近隣の状況と今後の導入につ